臨床薬学基礎実習 Practice in Basic Clinical Pharmacy Service

基礎科目　3 年／後期　2 単位　必修科目

科目責任者　**花田　和彦（薬物動態学研究室）**

▌教育目的

薬物治療に対して責任の一端を担える臨床薬剤師を養成するため、その基盤となる専門的スキル（情報検索、病態評価、薬物動態評価、文献評価）を習得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、YD-④、YD-⑥】

▌学習到達目標

1．医薬品に関する種々の情報を適切な情報源から入手できる。（知識・技能）
2．生理機能や血液、尿検査等の臨床検査データから患者の病状を適確に把握できる。（知識・技能）
3．薬物血中濃度データをもとに患者に個別化した用法・用量を提案できる。（知識・技能・態度）
4．専門的な視点から医薬品情報を評価、整理、加工、伝達できる。（知識・技能・態度）

▌準備学習（予習・復習）

予習：実習書の内容について予習するとともに、各項目について課せられた宿題を行う。（40 分以上）
復習：実習書に再度目を通し、理解を深める。（20 分以上）

▌授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、実習・フィールドワーク

▌授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医薬品情報検索１	三次資料と Medline 検索	E3(1)-②・③、F(3)-②
2	医薬品情報検索２	電子化情報源	E3(1)-②・③、F(3)-②
3	臨床検査データの解釈１	バイタルサイン	E3(2)-①、F(1)-①、F(3)-①
4	臨床検査データの解釈２	臨床検査値の解釈と評価１	E3(2)-①、F(3)-①・④
5	臨床検査データの解釈３	臨床検査値の解釈と評価２と SGD	E3(2)-①、F(3)-①・④
6	薬物動態解析・TDM １	治療薬物モニタリングと SGD	E3(3)-⑤、E4(2)-②、F(3)-③・④
7	薬物動態解析・TDM ２	薬物血中濃度データの解析とシミュレーション	E3(3)-⑤、E4(2)-①・②
8	文献評価	臨床研究論文の批判的吟味と SGD	E3(1)-④～⑥
9	プロフェッショナル・ライティング	プロフェッショナル・ライティングと SGD（A・B 合同）	E3(1)-④～⑥、F(3)-②
10	医薬品評価	医薬品評価と SGD（A・B 合同）	E3(1)-③・⑥・⑦、F(3)-②
11	総合実習	SGD と発表（A・B 合同）	E2(11)-①、E3(2)-②、F(4)-①

▌授業分担者

石橋 賢一、植沢 芳広、櫛山 暁史、小林 カオル、佐藤 光利、花田 和彦、廣瀬 誠、前田 英紀、宮嶋 篤志、鈴木 陽介、高橋 雅弘、永井 純子

▌課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

適宜、解説等によるフィードバックを行う。
実習への取り組み姿勢（50%）と課題・レポートの内容（50%）に基づいて総合的に評価する。

▌参考書

「Drug Information: A Guide for Pharmacists」（McGraw-Hill）
「フィジカルアセスメントがみえる」（医療情報科学研究所）
「臨床薬物動態学：薬物治療の適正化のために」（丸善）